

写真でつづる■KUWV45周年事業

——その日、平成15年9月13日(土)、石川県は、全国的にも異様に暑い一日でした。

OB 諸氏と現役のみんな約100人の熱気が白山麓に集中したせいかな……、

はたまた、新スタッフの情熱がそうさせたのか……。

そう言えば、ワングル現役時代も、

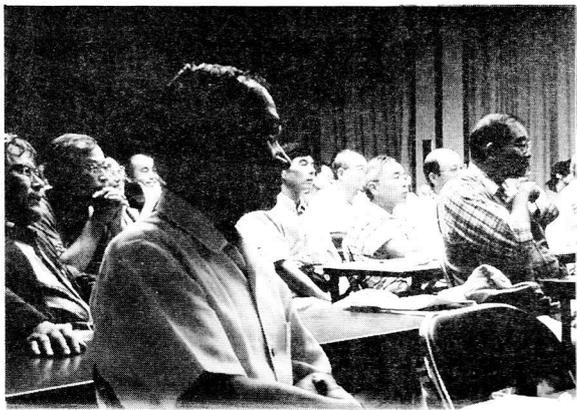
炎天下の登り、どしゃぶりの沈殿、厳冬期の二つ玉低気圧……と

なんでも楽しんでいたっけ。

そんな私たちは、やっぱり、100人分のおにぎりづくり、

雨のキャンプファイヤーもとことん味わいつくしたのです。——







この雑文は、21期周辺で交換しているメールに、
45周年事業の報告をしているメール文です。
すごい乱文で申し訳ありませんが、
当時の余韻さめやらぬ臨場感が出ているか……と思い、
掲載させていただきます。あな、二度目のはずかしや……

こんばんは 大野直子です。

21期、22期の皆さん方に45周年OB会の報告をしなれば・・・
と、思いながら、ゆく夏を惜しむような残暑九月と
OB会の疲れ（私はほとんど何もしなかったのですが・・・）と
余韻に浸っているうちに、気持ちのいい秋が来て、ほーっとしていました。

郁子さんが言ってくださったように、
新生OB会は、スタッフからしてうんと楽しんだ会になったと思います。
その楽しさは
榎新会長夫妻の現地下見からはじまり、冷静沈着な会計の鳥越くん、
八面六臂の活躍を見せてくれたえりちゃん、
いつも柔和な深田さん、久富さん・・・などなどが
たくさんの方の労力と時間を費やしてくださったたまものです。
ありがとうございます～～～

9月13日は、最高気温が36度という厳しい残暑の日でしたが、
そんな暑さなど忘れてしまう1日でした。
朝、スーパーの駐車場に集合した私が見たのは、
榎家のパジェロの荷台に
後ろが見えなくなるほどの大量に積み込まれた缶ビール。
そして90人分の食料の買い出し、秋吉へ焼き鳥を買いに行ったりと
女の子の部長を含める現役ワングル生と協力してその日がスタートしました。

白峰のロッジでは、3棟に別れて、現役生が食当係となり
おにぎりやメッタ汁を作ってくれました。
なにせ、90人分。
そりゃあ、食料買い出し表作成の時点からもうたいへんです。
ホントによく頑張ったよ、むっちゃ～～～ん！！ アリガトウ！！
途中で、メッタ汁の味噌が足りない・・・！？なんてハプニングも起こって、
「ホワイトガソリン下山」はあったけど、「味噌下山」はまだオレ経験してねえー
なんて洒落たことを医学部の男の子が言ってくれちゃったりしました。



炎天下のもと、駐車場誘導に立ってくれた若者たち
総会の大部屋の準備をしてくれたスタッフたち
そして各ロッジの個性豊かなおにぎり&メッタ汁を作ってくれた部員たちと
みんなの協力で着々と準備が進みました。

いよいよ、夕刻。総会が執り行われました。

肅々と引継が行われたその終盤、

司会のえりちゃんの台本にはない榎新会長の突然の発声が・・・

「僕はここで重大発表をしたいと思います！！」

エッ・・・？ 何を言い出すんだろうと、新スタッフがハラハラするなか

榎さんは、おもむろにギターを取りだし

「僕たちが辞める次回5年後の50周年OB総会までに

この新しいスタッフを中心として、金大ワングルの部歌を創りたいと思います
だって、金大ワングルに部の唄がないのはいかにもザンネン・・・」

法政大学ワングル部歌の「エーデルワイスの歌」や

「一人の山」などのしっとりとした唄など、さわりを弾いて

大先輩のOBの皆さんに曲調のリクエストを求めました。

最後には11期の加藤さんが作成してくれた

金大ワングル創設当時のビデオを鑑賞。

その素晴らしい編集に、予定では順々に温泉へ入ってもらうはずが
だれ一人席を立つ人はおらず・・・

1期の田村氏などは一番前の席に移動してかぶりつき。

あの懐かしい部室前の、山への出発風景が映ったときは

私も思わずうるうるとこみ上げてくるものがありました。

そんなこんなで総会も無事終了。

キャンプ場では雨が心配されるなか、

ふか～たサンと現役男子部員が頑張ってくれてキャンプファイヤーの準備。

大量の缶ビールを近くの沢に冷やし

白峰の堅豆腐や生野菜もオードブルに用意して準備は万端。

岡部（村池）さんの司会で燃えさかる火のなか四高寮歌も歌って行われました。

でも、雨がひどくなって、二次会の後半はロッジにて。

新スタッフはなんとなく火のそばを去りがたく、

奥名旧会長や最愛の妻山田和子さんを亡くしたばかりの傷心の宇野さんなど

キャンプファイヤーの周りに残り、

みんなで山の唄を歌いまくりました（もち、榎さんのギターの伴奏付き）。

みなさん、、、♪「白山の尾根」っていう唄、覚えてますか？

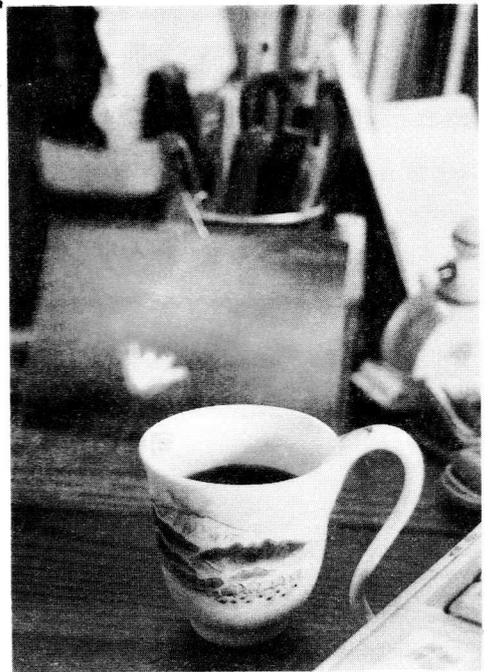
この度、ワンダーフォーゲル創部45周年にあたり、記念品を造らせて頂きました。お世話頂いた舟田さんの、心に残る記念品がほしいと言う熱意に動かされました。また、山代温泉ホテル百万石から依頼され5年がかりで制作し今年秋完成する、日本百名山を100枚の絵皿にする仕事の過程で、ワンゲルにいたから出来た仕事だなと実感し、その感謝の気持ちもあります。

金大ワンゲルにいた人間にとって忘れることの出来ない3つの山、白山、高三郎、医王山を描きました。その下の山々や、里の風景はご自分で決めて頂けたらと思います。

末永く身近において使って頂ければ幸いです。

金沢大学ワンダーフォーゲル部20期

中村 元風 (旧姓 土屋正登)



元風グリップのテミカップ
 ありがとうございました!!
 中村元風(ビッグ)さん

< 中村元風陶歴 >

昭和30年、石川県に生まれる。金沢大学大学院で生物学の研究者として哺乳類、鳥類の生態を研究。大学院在学中から祖父(中村翠恒、日展参与、県無形文化財)の指導のもと、ロクロから上絵付まで、陶技全般の修業を始め、約10年の修業の後、作品を発表し始め現在に至る。祖父亡き後は三代徳田八十吉先生(人間国宝)に師事している。



平成4年、日本伝統工芸展初入選以後、連続入選し、平成7年、日本工芸会正会員に認定される。

平成14年、加賀市文化財保護審議会委員に就任。

平成15年、山代温泉ホテル百万石、ふるさと百名山絵皿100枚完成。

古九谷を基にした端皿(小皿)、持ちやすい元風グリップの付いたカップ、独自技法ふくら手色絵窯変による作品が主な特徴。

< 住 所 >

〒922-0862 石川県加賀市大聖寺錦町13-37甲
 TEL・FAX (0761) 73-3800

今九谷元風窯 中村 元風

白山とかヒマラヤとかひととおりに歌ったら、
一人ひとり出身地に歌詞を置き換えて歌っていく唄です。
たとえば樺さんだったら、
片町・・・犀川のな～がれ～、ヨッパライが獲れる～～～♪というアノ唄です。
私は今回のOB会で、この唄を新スタッフで歌い回したことが一番心に残りました。
だってその後も、家で、ごはんづくりをしているとき、
知らぬ間に♪「白山の尾根」を口づさんでいるんです・・・よ。
あの時きつと、私は25年の歳月を巻き戻して
金大ワングル現役部員になって、
どっかの山のテントの中で歌っているような気持ちになったんだと思います。

廃材もようやく燃え尽き、ロッジに戻ると、
大先輩たちはひとつのロッジに集まり宴会が佳境でした。
そこで、現役生も呼び込んでロッジに集結し
再度、唄、唄、唄の大宴会が始まったのでした。
現役生が山の唄をまったく歌わなくなっていたことには驚きましたが・・・
サミシイゾ、カナシイゾ、魚ノ目ニ涙・・・
宴会は、現役生は4時まで続き、就寝。

翌朝はカップヌードルでもうそれぞれ勝手にやっちゃくれ～～～という感じ。
おおのなおこは二日酔いで完全に撃沈しておりました・・・。
お開きの挨拶では
「新スタッフ一同、『たのしみながら』を合い言葉にやっていきます！！」と
樺新会長が高らかに宣言して終わりました。
おしまい。。。。

こんな半分ヨッパライの文章にながながとおつきあいくださいましたあなた、
アナタハ、エライ。ご苦労さまでした。
(きっと明日読んだら、冷や汗ものだと思います・・・)
ありがとうございました。
合掌。

21、22期の皆さん方、
気が向いたら、OB会費、年2000円、5年で1万円を宜しく願いいたします。
そして、50周年では、金沢に集い、歌い、語ろうではあ～りませんか！！
新生部歌も聴けますよ～～～

では、長くなり、本当にごめんなさいでした。
秋の週末の夜長
梅酒を片手に・・・